

(法第28条第1項関係様式例)

平成22年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

特定非営利活動法人 ほっとタウン有功

科 目	金 額 (単位:円)		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費収入	116,000	116,000	
2 助成金収入			
独立行政法人福祉医療機構助成金	2,000,000	2,000,000	
3 事業収入	333,200		
いきいきサロン事業参加費収入	102,200		
友愛訪問活動事業チケット販売収入	231,000	333,200	
4 寄付金収入	75,610	75,610	
5 雑収入	47,306	47,306	
6 繰入金	450,000	450,000	
7 貸付金利息	150,000	150,000	
8 前年度繰越金	8,553,703	8,553,703	
経常収入合計		11,725,819	11,725,819
II 経常支出の部			
1 事業費			
ボランティアリーダー養成講座開催事業費	156,920		
地域福祉リーダー大学講座開催事業費	45,640		
友愛訪問活動事業費	618,500		
いきいきサロン運営事業費	190,000		
移送サービス事業費	56,240		
地域福祉ボランティア交流会開催事業費	52,820	1,120,120	
2 管理費			
人件費	1,704,000		
会議費	48,963		
旅費交通費	179,070		
通信運搬費	69,901		
印刷製本費	206,325		
消耗品費	508,106		
燃料光熱水費	101,016		
賃借料	700,800		
保険料	10,584		
委託料	241,675		
雑費	89,764	3,860,204	
3 繰出金	450,000	450,000	
4 返還金			
独立行政法人福祉医療機構助成金返還金	84,706	84,706	
経常支出合計			5,515,030
経常収支差額			6,210,789

Ⅲ	その他資金収入の部			
1	固定資産売却収入			
	その他資金収入合計			
Ⅳ	その他資金支出の部			
1	固定資産取得支出			
	その他資金支出合計			
	当期収支差額			6,210,789
	前期繰越収支差額			8,553,703
	次期繰越収支差額			6,210,789
	(正味財産増減の部)			
Ⅴ	正味財産増加の部			
1	資産増加額			
	当期収支差額(再掲)			
2	負債減少額			
	増加額合計			
Ⅵ	正味財産減少の部			
1	資産減少額			
	当期収支差額(再掲)(マイナスの場合)	6,210,789		
2	負債増加額			
	預り金	84,706		
	減少額合計			2,342,914
	当期正味財産増加額(減少額)			△ 2,342,914
	前期繰越正味財産額			24,585,099
	当期正味財産合計			22,242,185

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 ① の部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては「その他の事業」と記載し、事業毎に区分して別業として作成する。
- 3 定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、前事業年度に実施しなかった場合でも収入支出0円の収支計算書を作成する。
- 4 その他の事業から収益が生じた場合は、その他の事業会計収支計算書及び特定非営利活動に係る事業会計収支計算書について、その他の事業会計から特定非営利活動に係る事業会計への繰入が明らかになるような科目を追加する。
- 5 「事業費」とは、法人の事業の実施のために直接要する支出で、管理費以外のものをいい、会計処理上は、事業の種類ごとに区分して記載する。事業費の例としては、「〇〇事業費」(注…当該事業の実施のために直接要する人件費・交通費等の費用が含まれる。)等が挙げられる。
- 8 特に、支出規模(事業費+管理費)でみた特定非営利活動に係る事業の割合、総支出額に占める管理費の割合等は、特定非営利活動を行うことを主たる目的とすること、営利を目的としないものであることという法定要件への適合性の判断材料となる。